

2025年度教学IRを活用した教学改善の取り組みの報告

教学マネジメント推進室

教育改革部門 カリキュラム改革検討チーム

教学マネジメント部門 教学IR・タスクフォース

目次

0) 概要

- 1) 現行カリキュラムにおけるTTI科目について
- 2) 英語力強化を目指し、TTIプログラムの再構築へ
- 3) 新TTIプログラム構築における教学IRの活用
- 4) 新TTIプログラムの構築: 個々の学生のニーズに合わせた授業の提供を目指して

0) 概要

外国語大学である本学では、各学部のディプロマ・ポリシーにもあるように「高度な外国語運用能力」の修得を、本学における教育目標の一つとして掲げている。これを実現させるため、個々の学科には専門科目としての言語プログラムがあり、また言語教育開発センター (CLED) から「英語基幹プログラム」が提供され、全学的な英語教育の充実化と質保証が図られている。

学生の入学時の英語力は年度ごとに変動するため、彼らに提供する英語教育プログラムの内容には定期的な検証と改革が求められる。教学マネジメント推進室の教学IR・タスクフォースではこの検証に必要とされるデータの分析を行い、これをCLEDや各学科と共有することで、学生の実際の英語力に基づいた英語プログラムの構築・改善を支えている。

この度、本学が再編期を迎えるにあたり、新カリキュラムの構築が全学的に取り組まれている中、全学的な英語力のさらなる強化が求められている。そのため、CLEDでは「英語基幹プログラム」の「TTI」科目が大きく改革されることとなり、新TTIの構築のために教学IR・タスクフォースによるデータが活用された。

1) 現行カリキュラムにおける TTI科目について

<科目概要>

TTIは、英語力検定試験 TOEFL, TOEIC, IELTS の特徴を理解し、英語運用能力の向上を目指しながら、どのように試験対策すればよいかを学ぶ科目である。一部の学部を除き、1年次生を対象とした必須科目であり、1期もしくは2期に履修する1単位科目である。

<現行TTIの課題>

一期間15週の授業の中で3種の検定試験について学ぶため、十分な理解を深めることができない。また、授業はクラス単位で行われるため、英語力に差がある学生たちが同一の教室で学ぶことから、個々の学生の英語力に合わせた指導をすることが難しい。

2) 英語力強化を目指し、TTIプログラムの再構築へ

2022年度より、教学マネジメント推進室のWFPタスクフォースで、全学的な英語力強化に向けた議論が開始された。ここではまず、現行の英語教育プログラムを再検討して、英語基幹プログラムと各学科の専門言語としての英語教育との棲み分けが図られた。一方、2023年度の学部長懇談会からは、英語力の到達度を客観的に示せるような指標としてTOEFLとTOEICの利用が提案され、さらに英語力の幅に対応し、リメディアル教育の手当と能力の高い学生を失望させない仕組みが必要であることが指摘された。また、TOEFL のスコアアップは、本学の強みである留学をさらに促進する一因となることも期待されている。

これを受け、2024年度より言語教育開発センター(CLED) が中心となり、教学マネジメント推進室カリキュラム改革検討チームと協同して、英語基幹プログラムのTTI科目を大きく見直すための検討が行われることとなった。

3) 新TTIプログラム構築における教学 IRの活用

2024年度から2025年度にかけ、CLEDとカリキュラム改革検討チームは打ち合わせを重ね、新プログラムの検討を行った。

＜参考：会議開催記録＞

2024年度

4月11日、11月5日、12月23日、2025年2月26日、3月4日、3月25日

2025年度

4月4日、4月9日、8月4日

新TTIを構築するにあたり、まず学生の英語力の実態を把握する必要がある。そこで、教学IR・タスクフォースに協力を依頼し、過去5年にわたる学生たちの実際のTOEFL, TOEICのスコアを分析し、各レベルの学生数の割合を明らかにした。

分析結果からは、最も多くの学生が集中しているスコア帯、さらには検定試験受験前に基礎の学び直しが必要な学生が一定数いることが確認された。

4) 新TTIプログラムの構築: 個々の学生のニーズに合わせた授業の提供を目指して

教学IR・タスクフォースの分析結果を参考に、新TTIでは個々の学生が自分の英語力に合わせた内容の授業を履修できるよう、TTI科目を各試験のスコア別に細分化することとした。また合わせて、検定試験受験以前に基礎からの学び直しを必要とする学生のためのBasicクラスを、帰国子女や外国にルーツを持つ学生など、英語力の高い学生のためにAdvanced クラスを新しく設置することとした。

さらに、教学IRのデータで示された学生のスコア分布状況を踏まえ、新TTIの各スコア講座の開講コマ数を決定した。

TTI	TTI A (TOEFL・入門R)
	TTI A (TOEFL・初級R)
	TTI A (TOEFL・入門)
	TTI A (TOEFL・初級)
	TTI A (TOEFL・中級)
	TTI A (TOEFL・上級)
	TTI B (TOEIC・初級)
	TTI B (TOEIC・中級)
	TTI B (TOEIC・上級)
	TTI C (IELTS・L&R)
	TTI C (IELTS・W&S)
CELP BASIC	CELP Basic English A
	CELP Basic English B
CELP ADVANCED	CELP Advanced English